

編集・発行：◎倉敷芸術科学
学大学図書館（〒712-8505
岡山県倉敷市連島町西之浦
2640 TEL.086-440-1181
FAX.086-440-1182）
編集・発行責任者：
館長 生谷吉男
（芸術学部教授）
編集者：
館員 井上弘行
館報は図書館ホームページ
でも読めます。
http://www.kusa.ac.jp/lib/
MAIN.HTML



題号の由来
孔子と弟子たちの言行を収録した『論語』の「子曰、『学而不思則罔。思而不学則殆。』（先生が言われた、『学んでも考えなければ、はっきり理解できない。考えても学ばなければ、確かなものとならない』の意）による。読みは日本語の音読みとした。初代学長谷口澄夫先生の筆による。

本学に通信制大学院 が開設されます

倉敷芸術科学大学 学長 土井 章

本学は、開学して8年目を迎えました。開学当初から振り返ってみますと、平成7年4月に、国際的な文化・芸術都市として世界的に認知されている倉敷市に「芸術学部」「産業科学技術学部」「国際教養学部」の3学部を擁する大学として開学し、私学として特色ある教育に取り組んで参りました。

平成11年4月には芸術研究科・産業科学技術研究科・人間文化研究科の3研究科が



らなる大学院修士課程を設置し、さらに平成13年4月には

芸術研究科・産業科学技術研究科に博士課程を設置しました。開学当初からネットワーク環境を整備し、学内LANやインターネットを活用した教育を行っております。

この度、「大学院設置基準」の改定により、大学院修士課程に通信教育の開設が可能となりました。そこで、芸術研究科、産業科学技術研究科、人間文化研究科での実績を基礎にして、社会人に広く大学院教育を開放し、高度専門教育の役割を果たすために、芸術研究科修士課程、産業科学技術研究科修士課程、人間文化研究科修士課程に新たに通信制教育課程が認可されました。

大学院は学術研究の推進と共に、それを発展させる研究者を養成する役割を担い、それと同時に高度な専門的知識や能力を有する人材を養成する役割も担っています。特に

後者は、近年の急速な技術の

発展、社会・経済の高度化、複雑化、情報化、国際化等に伴う時代の要請に応え、高度な専門的知識を備えて個々の職業に従事できる人材養成の場として期待されています。すでに職業に従事している社会人も、より高度な知識の獲得を目指してリカレント教育の場を求めています。

特集 通信制大学院

大学図書館は、市中の図書館の機能に加えて学生、教職員に対して勉強研究のための重要な資料を提供する所です。本学における図書館は開設以来七年を経過してありますが、他大学に比しても歴史の深浅を感じさせない多くの蔵書を揃えてきており、専門書を中心に幅ひろく収集して参りました。

現在、図書類5万7千冊、専門雑誌800種類を蔵書いたしております。その他に視聴覚資料も多くあり、電子情報を検索するためのパソコンも多く備えております。また、閲覧室の環境もよく、オープン書架にある蔵書をそれぞれ手に取ってみられます。

通信制大学院に対する 図書館の役割

図書館長 生谷 吉男

情報があふれています。仮に研究を進めるときに、先ず文献を詳細に検索し、研究テーマの新規性を確かめ、関連情報を収集します。特に通信制大学院においては、対面指導が受けられない部分は、図書資料の活用が重要な事項となります。

また、大学図書館が、地理的に遠い存在ではあります。図書館の文献検索や、文献収集のお手伝いなどの最新サービスを受けて頂くことで、図書館が貴方のカバンの中にある存在となります。今号（次頁）で取り上げていますインターネットを活用して載きますと、さらに身近になります。

当図書館で得られない図書や文献については、各大学図書館の相互の連携によって利用者の便宜を図る道が敷かれています。図書館相互で文献のコピーサービスや図書の貸借などによって、外部図書館の利用ができる仕組みが、できあがっています。

スクリーンングなどにおいて来学されましたら、是非、キャンパスの中央を目指して図書館に立ち寄り、これらのサービスを受けられますよう、そして、何事も本学図書館のカウンターに、ご相談を頂きますようお願いいたします。

本年度より大学院通信制が
本大学でも開講されます。

通信制の学生の皆さんは、
自宅での学習が中心となり本
学図書館を直接利用する機会
はあまりないでしょうが、学
習をする上で、図書館は欠か
せない存在だと思えます。

図書館としても遠隔地から
でも利用できるサービスの充
実を図っていききたいと思っ
ています。

そこで、今回は通信制の学
生さんが自宅からでも図書館
を利用できる、インター
ネットを使用している図書
館サービスを中心とした
利用方法について説明し
たいと思います。

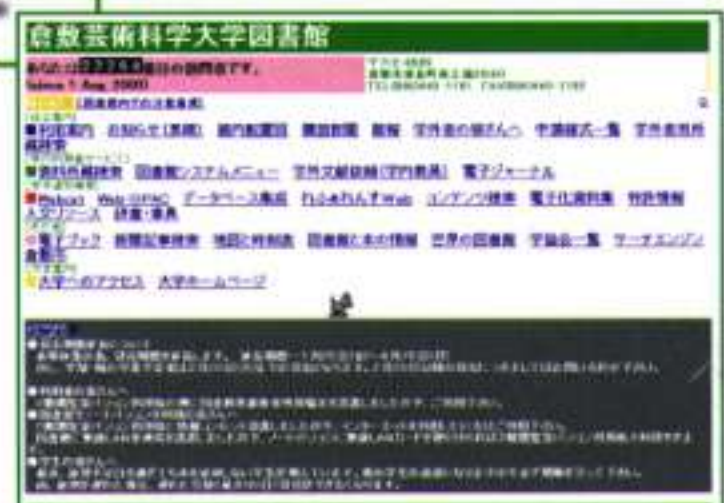
インターネットを利用
して図書館サービスを受
ける場合は、すべて本学
図書館HPを通して情報提
供しています。

以下に代
表的なサー
ビスを説明
します。

①図書
館の利用
方法が知
りたい時
図書館を
利用する場合の方法が利用案
内ページから見られるようにな
っています。

図書館機能をスムーズに利
用する為に図書館HPを訪れた
時は目を通して置いて下さ
い。

通信制を支援 図書館 ネット



②図書館の開館日が
知りたい時

スクーリング期間中は図書
館を開館していますが、それ
以外で図書館を利用したい場
合、電話等で確認しなくても
図書館のトップページに開館
日と開館時間を2ヶ月分図書
館カレンダーとして表示して
いますので開閉館を確認する
ことができます。

③本学図書館所蔵の
資料を調べたい時

資料を調べたい時
資料を調べたい時
資料を調べたい時

蔵資料の
検索が行
えるよう
になって
おり、図
書と雑誌
の所蔵を
確認でき
ます。ス
クーリン
グ等で来
学時に借りることができま
す。

④情報収集のページを
知りたい時

図書館HP上に無料のデータ
ベースなど、各種情報収集の
ためのページへのリンクをは
っていますので利用下さい。

⑤他大学図書館等を
利用したい時

他大学図書館を利用したい
場合や本学図書館に無い資料
を入手したい場合は、申請様
式一覧ページをクリックして

頂きますと相互利用申込書、
他館利用依頼発行願書をPD
F形式のファイルで提供して
いますので、こちらをプリン
ターに出力して図書館宛に送
付していただければ利用する
ことができます。

⑥図書館に
質問をしたい時

図書館に関する事であ
れば、電子メールを送って頂
ければ、メールにて回答いた
します。

⑦その他

県内の大学図書館の間で岡
山県相互協力協定を結んで
いますので、学生の皆さんは学
生証を提示することで岡山県
の他大学図書館を利用する
ことができます。

また自宅近隣の公共図書館
を利用することも有効な方法
だと思えます。
以上の様な機能を活用して
通信制の学生さんは、学習を
効率よく進めていただけたら
と思います。

図書館データ

名称 倉敷芸術科学大学 図書館
住所 〒712-8505
岡山県倉敷市連島町西之浦2640
TEL 086-440-1181, FAX 086-440-1182
ホームページ
http://www.kusa.ac.jp/lib/MAIN.HTML
メール libs@libs.kusa.ac.jp

利用者の皆さんへ

図書館を利用して
いる皆さんは、図書
館の正面玄関に掲示
してありますので、ご
承知のこととは思
いますが、図書館を利
用していただく上で
守っていただきたい
注意事項を左記のと
おり列記いたします。

●大きな声をださないこと
図書館内では、無駄な私語
はしないように気を付けて下
さい。通常はそうでもないの
ですが、試験期ともなると大
勢の利用者で館内が、活気づ
くのは嬉しいのですが、話に
夢中になり、二階の話し声が
一階まで聞こえてきます。館
内放送を利用したり、図書館
員が注意して回っても、すぐ
元どおりの話し声が聞こえ
てきます。

●ノートパソコンは決めら
れた席を使用すること。
パソコン席を二階に設けて
ありますが、通常の閲覧席で
パソコンを利用している人を
見掛けることがあります。

●真面目に勉強している人の
迷惑にならないように、私語
はつつしんで利用して下さい。

●特に壁際の空調設備の電源
を抜いて利用している人が
いますが、空調がエラー表示を
しますので絶対に避けて下さ
い。

現在のパソコン席辺りをも
う少し拡張しようと思いま
すので、よろしくお願いま
す。
●飲食は厳禁で飲食物は靴
や袋などにしまうこと
館内へ飲食物を持ち込んで
来る人が多数います。閲覧席
を見回してみると、机の上
にジュースが置いてあった
り、パン、菓子等の袋が捨て
られてあるのを見かけます。
ジュースをこぼしたり、パン
などのくずで閲覧机が汚れ、
大切な資料が汚れたりします。
皆さんの大切な資料は皆
んで守りましょう。

●携帯電話類のスイッチは
切ること。
館内で携帯電話やPHSの
ベルの音が時々響いています。
勉強をしている人たちの迷
惑にもなりますので、入館を
する前に、電源は必ず切っ
て下さい。

●閲覧した資料は元の場所
に戻すこと。
館内で閲覧した資料が、利
用した閲覧机の上に置いてあ
ったり、書架の間で閲覧した
ら取り出したまま書架に戻さ
ずに、その辺にころがしてあ
ります。次の利用者が待つて
いることを考えて、元の場所
へ戻すようお願いいたします。

●以上のことを、利用者の皆
さん、図書館職員共に一人一
人が少しずつの心遣いで守っ
ていただければ、気持ちのよ
い、利用しやすい図書館にな
ると思います。

●閲覧した資料は元の場所
に戻すこと。
館内で閲覧した資料が、利
用した閲覧机の上に置いてあ
ったり、書架の間で閲覧した
ら取り出したまま書架に戻さ
ずに、その辺にころがしてあ
ります。次の利用者が待つて
いることを考えて、元の場所
へ戻すようお願いいたします。

図書館では、自己評価の一
環として「利用者アンケート」
を実施しました。これにより
電子図書館と呼ばれる今日、
デジタル情報に溺れることな
り、人間味溢れる
く、人間味溢れる
利用者環境という
ものを探ってみた
と思います。
アンケートは、
平成13年11月実施。
1週間前後で88件
の回答を得ました。

図書館利用者の
問い合わせ？
は、約8割に近い
方が、ほぼ毎日が、
週に複数回は来館
して載っている
ということ。常
連と言えは、それ
までですが、館員にはそれだ
けでも身の引き締まる思い
です。その裏には、学期に数回
とだけ答えた方がいないので
もなく、全在生に敷衍しま
すと、ただ来館者の比率だけ
で喜べるものではありません。
次に関心を惹くのは、資料
の多寡についてです。「目的
の資料がない」というご意見
が、回答者の約9割もいま
した。これは、大方の予想通り
とはいえず、図書館という役柄
から誠にもって寂しい限り、
と憂慮せざるをえない有様
です。購入予算の増大をひと
きりお願いする次第です。
一方で「備え付け資料」につ
いて尋ねると、「満足」と「ま
あまあ」で(以下次頁下段へ)

図書館では、自己評価の一
環として「利用者アンケート」
を実施しました。これにより
電子図書館と呼ばれる今日、
デジタル情報に溺れることな
り、人間味溢れる
く、人間味溢れる
利用者環境という
ものを探ってみた
と思います。
アンケートは、
平成13年11月実施。
1週間前後で88件
の回答を得ました。
まず目につく
のは、約8割に近い
方が、ほぼ毎日が、
週に複数回は来館
して載っている
ということ。常
連と言えは、それ
までですが、館員にはそれだ
けでも身の引き締まる思い
です。その裏には、学期に数回
とだけ答えた方がいないので
もなく、全在生に敷衍しま
すと、ただ来館者の比率だけ
で喜べるものではありません。
次に関心を惹くのは、資料
の多寡についてです。「目的
の資料がない」というご意見
が、回答者の約9割もいま
した。これは、大方の予想通り
とはいえず、図書館という役柄
から誠にもって寂しい限り、
と憂慮せざるをえない有様
です。購入予算の増大をひと
きりお願いする次第です。
一方で「備え付け資料」につ
いて尋ねると、「満足」と「ま
あまあ」で(以下次頁下段へ)

図書館と利用者意識

谷本主任

大学の図書館は、教育・研究に欠かすことができない重要な機関となっています。我が国では明治維新以後に設立されました。その先駆的貢献をなした福沢諭吉の「西洋事情」において知られることとなりました。その図書館とは、資料を収集・整理して利用者の要求に応じる各種のサービスをを行う所です。

館 員 通 信

利用者への要望 & 言いたいこと

事実、館員の業務は、利用者が求める種々の情報提供にいかに対応することができかということに掛かっています。その為、館員にはいろいろな負荷が課せられます。私たちの一日の業務は、開館前の新開排架から始まり、書架の整理や受入図書書の整理がこれに続きます。他に、レファレンスサービス・OPAC・文献依頼など…。さらに、館内でゆったりおちついて利用できる雰囲気づくりの環境整備もあります。当然ここを利用する人は、利用に際し決められた規則を守るべきですが、お喋りが好きで若干迷惑の嫌いもありますので注意しましょう。つきに、利用者に喚起したい点を取り上げてみました。

①私物本や他館の図書等を本館へ返却するのをみまします。今一度、確認してください。

②図書の又貸しは、本来は禁止行為です。その場合、カウンターで必ずそのことを告げてください。

③複数の貸出図書に混じって、禁帯図書をカウンターに持参する人がいます。禁帯図書は、館内利用のみです。

④利用者で図書に書き込みをする人がいます。これは止めてください。このことは、学生の利用に限りません。

これらに関して「図書館で考える道徳」本を紹介しておきます。館員による注意よりも利用者ご自身の問題意識ではないでしょうか。

図書館としては、利用者の要望に応え、学生希望図書購入用紙を用意し蔵書充実に努めています。図書館を利用することで豊富な知識が得られ、これを原点として修学に励まれることを期待します。そのことが将来への糧となり、輝きを二層向上させます。

図書館マナー

近藤館員

最近、図書館でのマナーが損なわれている様に思われます。私語や携帯電話の使用、飲食物の持ち込み、貸出し本の延滞などである。近年の急激な時代の流れに合わせ、図書館の利用のあり方も変わりつつある。勉強の

際コンピュータを使うようになり、図書館内で利用する方もかなり多いようだ。本に変わる視聴覚資料の利用者も増えている。

また、多くの利用者が携帯電話を持つようになり、使用は禁じてはいても、会話やメールなどよく見受けられる。当然利用者のニーズにあわせ、図書館自体も変わらねばならないのではあるが、「図書館は全ての利用者にとって快適に利用してもらわなければならない」という根本は、昔も今も変わらない。図書館で私語や携帯電話の使用、音を立ててのコンピュータゲーム、直接他人に迷惑のかかること、貸出し本の延滞のような、間接的に他人に迷惑のかかるような行為は、絶対にしてはならない。

図書館は娯楽施設ではないのだ。今一度、利用者各々が、「本来の図書館の意義、それに対する図書館利用のあり方」というものを考えて戴きたい。



我々図書館職員も、利用者のニーズに沿った環境作りをし、多くの方々に利用されるよう努力していきたい。

相互協力サービス

藤高館員

本館は、開学して十年足らずの新しい図書館で、所蔵数が少ないのは、残念なことの一つです。限られた予算では、専門書が優先され、利用者には一般的な実用書や娯楽系の図書が少なくという意見を時々耳にします。これに添えて次の書籍を紹介しておきます。

- ・子犬の育て方完璧宣言!
- ・人気シェフの料理レッスン
- ・コンピュータ音楽
- ・快適ひとり暮らし
- ・食材クッキング事典

どの本も、楽しく、わかりやすいので、ぜひ利用してみてください。

勉学に限らず、本館で所蔵していない図書は「相互協力」制度の活用ができます。例えば、他の図書館等から複写物の入手や

図書の現物を貸借するもので、複写料・送料、共に有料です。入手には相手がより3、4日程度は掛かります。「相互利用申込書」

が必要ですが、また、これとは別に本館発行の紹介状を持つて、直接、訪問する方法もあります。いずれもカウンターへお気軽にお尋ねください。図書館をご利用の方に、お願いがあります。館内では、多くの人が個々に学習してい

ますので、大きな声で話をしたりして、他人に迷惑をかけるないでください。

図書館の資料は私物ではありません。アンダーラインや落書き、特定箇所の破りとりなどは、絶対止めてください。また、正規の手続きをしないまま資料を持ち出してしまつては悲しいことです。この場合は、その資料は、二度と戻っては来ません。さらに、返却予定日は必ず守ってください。延滞しますと、最大30日間、次の借受ができなくなりま

す。他にもう一つ、借受資料を紛失したり傷めてしまった場合は、速やかに連絡ください。こうした事故は一握の利用者ですが、言語道断の誤りだと気づいてほしいのです。

私は図書館を利用していた多く皆さん方に、図書館所蔵の書籍・資料等に対する「公共性」の認識を常に持つてほしいことと、それらを宝物として慈しみ大切にすることを「優しい心」を持っていて戴きたいものと願っています。

「相互協力」を担当し、レファレンス・サービス等を通じて、利用者の方々と共に学ぶことができ、この仕事に大変、誇りと喜びを感じています。本館がよりいっそう生き生きとした魅力的、かつ充実した図書館となりますように、皆さん方と共に力を合わせて、微力ながら一生懸命に努力していきたいと思ひます。

（前頁下段より）回答者の約7割に当たる方が、満足度を示しており、ある一面では図書館が役にたっていることも窺われます。

次に興味湧くものに「OPAC」の利用があります。利用「する」「しない」は、ほぼ半々でしたが、「しない」に回答した方で、約4割の方が、「利用法が分からない」との回答でした。館員からみれば、OPACの利用は、日常的な行為であろう。そこから、「あんなもの！」という着りなかつたであろうか。学生の声をよく聞き、省みてよく話し合ってみる、という謙虚さが欠けてはいなかつたらうか。

アンケートでは、図書館そのものが、どんな形で受け止められているのかを尋ねてみました。今後の図書館の在り方を占う意味では、重要なことと捉え、最後にその結果を紹介しておきます。①入りやすい②落ち着ける、を合わせて回答者の86%が、この受け止め方をしています。ひとまずは、安心というところで

す。反面「騒々しい」という声もあり、お互いモラルは守って戴きたいものです。今回は、来館者を通しての声であり、全学的なものではありません。しかし、貴重なボイスを頂戴しました。これを今後の館運営に反映させたいと思ひます。協力戴いた皆さんに、お礼申し上げます。

（前頁下段より）回答者の約7割に当たる方が、満足度を示しており、ある一面では図書館が役にたっていることも窺われます。

（前頁下段より）回答者の約7割に当たる方が、満足度を示しており、ある一面では図書館が役にたっていることも窺われます。

（前頁下段より）回答者の約7割に当たる方が、満足度を示しており、ある一面では図書館が役にたっていることも窺われます。

（前頁下段より）回答者の約7割に当たる方が、満足度を示しており、ある一面では図書館が役にたっていることも窺われます。

（前頁下段より）回答者の約7割に当たる方が、満足度を示しており、ある一面では図書館が役にたっていることも窺われます。

（前頁下段より）回答者の約7割に当たる方が、満足度を示しており、ある一面では図書館が役にたっていることも窺われます。



絵を読む楽しみ

絵を読みはじめて久しい。その分、字を読むことが少なくなつた。もちろん美術館に行つて絵を見るといふのが出発点だが、やがて絵を見ることから遠ざかり、だんだんと絵を読むようになっていった。美術館ではついつい絵は読まずに見てしまふのである。写真集でも画集でも絵本でもマンガでもよいのだが、とにかく絵を読むためには本の体裁を取つていふ必要がある。美術館は絵を見るどころだとすると、図書館は絵を読むところというのが私の見解である。本を読むように時間をかけて絵を読んでいくのである。

見る方は絵を一瞬にして見終えてしまふが、描く方は膨大な時間をかけてこれをつくりあげている。見るのは時間がかからないが、読むのは時間がかかるのだ。フロッピー一枚に文章なら何百ページ分の文字が入るが、写真だと一枚の画像には文章に換算すると百ページ以上の情報が入りこんでいるということだ。しかし現実問題、絵をそん

なにじっくりと読んだ経験があるだろうか。読みかたがわからないと、ただ呆然と眺めているにすぎない。しかしいつたん文法がわかりだすと、こんなにもおもしろいものはないと気づく。ことに「写真」の解説はおもしろい。思いもつかないようなことが写真には写し込まれているからだ。

今日はこうした写真の読みかたを教えてください。一冊を紹介しよう。清岡卓行著「手の変幻」(美術出版社66年、講談社文芸文庫90年)である。著者は小説家で詩人、「アカシアの大連」という小説がよく知られるが、本書はさまざまな手の表情を写し出した絵画や写真や映画を読んでいくエッセイ集だ。なかでも興味深いのは東京オリンピックで日本の女子バレーが金メダルを取ったときの写真だ。勝利の瞬間を写したその一枚には、強豪ソ連の選手六人のだらっとしたうなだれた手に対して、喜び合う日本選手のびんと伸びた指が印象的であり、目をおおう涙の手もある。勝負の明暗がくっきりと写真に現われ



芸術学部 教授 神原 正明

「東洋の魔女」と呼ばれた彼女らの指は痛々しいまでにはれ上がり、何重にもサビオが巻かれている。一枚の写真はきつとそこに写された人物のすべての過去をまるごとさらけ出しているのではないかと気がする。さらにいえばその人物の未来までも写しこめる力が写真にはあるのではないかと感じた。この章は「自分の勝利に羞恥を感じている人間の姿は、なぜかしら美しいものである」というフレーズからはじまる。「喜びから涙へと移つて行く彼女たちの感情の高まり」に「過ぎ去ろうとしている青春」を著者は読み取ろうとする。

確かに勝利の喜びはすべてをかけた青春の終わりでもある。目的の達成は、その後の人生を閉塞させる。親の仇討ちを唯一の生きがいにした武士が、見事無念を果したあとでふと感じるむなしさに似ている。

何でもいいから、今の自分を一枚スナップ写真に撮ってみよう。きつと挫折の一つや二つは写しこまれているはずだ。自分の知らなかつた真実に出会つて、愕然とするかもしれない。顔をよく見ると、意外なところに傷があつたというところにも気づく。一体いつ付けられた傷であつたのかと記憶をたどる。(以下6頁最下段へ)

近隣図書館訪問記

岡山理科大学図書館

レポーター 芸術研究科生 下柳 瑠美

師走の岡山市内を一望する眺めの良いキャンパス。今回は、我が大学とも交流の深い岡山理科大学図書館を訪れた。当館に足を踏み入れると、まずその広さと資料の豊富さに驚く。理科大は御存知の方も多いと思うが、校舎数が多い利用者の利便を図り、10・11・21号館にそれぞれ分野別の収納をしている。その合計面積は、約3362㎡、座席数590席、所蔵数は34万冊以上、なかでも雑誌に関しては、4643種という規模の多さを誇っている。



一見資料の多さに戸惑いそうになる。館内配布のガイドブックやニュースが充実しており、それらを活用すれば、館別に分かれている資料も使い分けが可能だ。各々分かれた図書館は、21号館が歴史・社会科学系、10号館は哲学・心理学・宗教・産業など。さらに11号館は、理工系の資料を中心に収蔵している。また小説、エッセイ、文庫本などの利用も多く、ブルーバックスの独立コーナーは、大きな特徴となっている。

理工系図書の新刊本、シラバス掲載の教科書、あるいは学生希望図書など購入間口を広げていると聞き、さすがに岡山理科大学だなど感激した。11・21号館は、平日20時45分まで開館している。これは利用者にはうれしい。夜間の無料学生送迎バスは、閉館時まで安心して利用でき、これも環境作りに熱心な図書館の姿勢である。県内大学では、珍しい日曜開館も同じである。さらに、学部学生の場合、貸出は2週間借りられ、冊数を無制限としたり、図書館報を年2回発行するなど、図書館を積極的に取り入れた大学生活を送って欲しいとの願いが伝わってくるようだ。

図書館に、より親しみを持てるよう、図書や雑誌の他にビデオテープやDVDの「映像資料」、カセットテープやCDの「録音資料」も所蔵している。これらは、11号館の視聴覚室で利用できる。特にDVDは、最新の映画が見られるとあって、学生からの人気は高いようだ。「読む」から「見る」への情報提供に、図書館の新しい一面を感じた。こちらの図書館は、機械情

岡山理科大学図書館案内



交通機関の案内
JR:津山線 法界院駅下車徒歩20分
バス:JR岡山駅西口より
乗換バス 岡山理科大学線(約20分)岡山理科大学下車

報システムに「OLION」を導入しており、資料の検索や自分の利用状況の確認ができる。さらにCD-ROMの検索用端末やインターネット端末も充実していて、様々な学術情報を調査するのに大いに活用できる。公開可能な情報は、公開の基本方針により公開されており、学内外からHPを経て豊富な資料情報が検索可能となっている。このように、理大図書館は、多くの情報を利用しやすい環境と共に様々な手段で提供しているため、利用者は自分の求める情報を素早く、そして確実にキャッチできる。今回、岡山理科大学の図書館を訪れて強く印象に残つたのは、資料の豊富さと徹底したシステムの確立、そして何よりも利用者によりよい形で情報を提供したいとする図書館の熱意である。我々芸科生も是非足を運んで利用したい図書館である。学生証携帯で11号館を訪れてみよう。シボルト植物花譜の原画を拝むだけでも圧巻である。

— 年 鑑 —

- ★世界年鑑, 共同通信社編, 共同通信社
- ★日本統計年鑑, 総務庁統計局編, 日本統計協会

— 哲 学 —

- ★京都学派の哲学, 藤田正勝編, 昭和堂
- ★世界樹木神話, J・ブロス著/藤井史郎他訳, 八坂書房

— 事 典 類 —

- ★ギリシア・ローマ神話事典, マイケル・グラント他著/西田実他訳, 大修館
- ★エジプト神話シンボル事典, マンフレート・ルルカー著, 大修館
- ★新宗教事典 本文編, 井上順孝他編, 弘文堂
- ★神道事典, 國學院大學日本文化研究所編集, 弘文堂

— 歴 史 —

- ★中世の風景を読む, 網野善彦他著, 新人物往来社
- ★ミラレパの足跡: チベットの聖なる谷へ, 伊藤健司著, 地湧社
- ★アンコール遺跡の建築学, 片桐正夫編, 連合出版
- ★慰めと励ましの言葉: マルティン・ルターによる一日一章, M.ルター著, 教文館
- ★西洋の没落, シュペングラー著/松村正俊訳, 五月書房
- ★中国天台諸寺院の研究—日本僧侶の足跡を訪ねて—, 斎藤忠著, 第一書房



敦煌石窟

— 芸 術 —

- ★敦煌石窟, 敦煌研究院: 学校法人文化学園編, 文化学園・文化出版局
- ★美のイデオロギー, テリー・イーグルトン著, 紀伊國屋
- ★美学のキーワード, W・ヘンクマン他編, 勁草書房
- ★アッシジから未来派まで, ロベルト・ロンギ著, 中央公論美術出版
- ★ヒエロニムス・ボスの『快樂の園』を読む, 神原正明著, 河出書房新社
- ★視覚論 (テオリア叢書), ハル・フォスター編, 平凡社
- ★文化資料と画像処理, 山田奨治著, 勉誠出版
- ★デューラーと名声, 秋山聡著, 中央公論美術
- ★陶器の思想, 加藤悦三著, 日本陶業新聞社
- ★古陶と現代陶を結ぶ琴線, 矢部良明著, 双葉社
- ★ガラスの歴史, ダン・クライン他編/湊典子他訳, 西村書店
- ★中国清朝のガラス, 土屋良雄著/藤森武写真, 紫紅社
- ★花洛 (みやこ) のモード: きものの時代, 京都国立博物館編, 思文閣
- ★キモノ文様事典, 藤原久勝著, 淡交社
- ★国際デザイン史: 日本の意匠と東西交流, デザイン史フォーラム編, 思文閣
- ★スポーツ外傷学総論, 黒澤尚他編, 医歯薬出版

地域の方々に

倉敷芸術科学大学

皆様の

開放されて
いる

書名, 著者名, 出版社

としよかん

ご利用を

お待ちしております。

— 社 会 —

- ★名著に学ぶ国際関係論, 花井等編, 有斐閣
- ★現代国際関係論, 西川吉光著, 晃洋書房
- ★キッシンジャー会話録, ウィリアム・バー編, 毎日新聞社
- ★知識創造企業, 野中郁次郎他著, 東洋経済新報社
- ★図解キャッシュフロー経営, 小宮一慶著, 東洋経済新報社

— 自然科学 —

- ★未来のたね—これからの科学—これからの人間—, アイリック・ニュート著, 日本放送出版協会
- ★コンピュータグラフィックス理論と実践, James D.Foley他共著, オーム社
- ★ウェーブレットと直交関数系, G.G.ウォルター著/榊原進他訳, 東京電気大学出版局
- ★基礎量子力学/演習, 小野寺嘉孝著, 裳華房

— 技術工学 —

- ★騒音制御工学ハンドブック 基礎編・応用編 資料編, 日本騒音制御工学会編, 技報堂
- ★感性工学と情報社会, 大澤光編著, 森北出版
- ★環境科学の基礎, 御代川貴久夫著, 培風館
- ★情報の可視化, 岸野文郎著, 岩波書店
- ★炎と色の技術, 伊藤彰著, アグネ技術センター

— コンピューター —

- ★C++基礎講座, M.T.Skinner著, インプレス
- ★プログラミング言語C++, B.ストラウストラップ著, トッパン
- ★独習Java, トップスタジオ訳, 翔泳社
- ★IPv6入門, トップスタジオ訳, 翔泳社
- ★TCP/IPインターネットワーキング, 西田竹志著, ソフト・リサーチ・センター
- ★Linuxで作るネットワーク実践構築ガイド, 笠野英松著, 技術評論社
- ★図解でわかるインターネットのすべて, 小泉修著, 日本実業出版
- ★インターネット探索記, C.マラムド著, トッパン
- ★インターネット訴訟2000, 岡村久道編著, ソフトバンクパブリッシング
- ★UNIXネットワークプログラミング, 篠田陽一訳, トッパン

— 言 語 —

- ★生きたことばをつかまえる—言語変異の観察と分析—, レズリー・ミルロイ著, 松柏社
- ★新明解日本語アクセント辞典, 秋永一枝編, 三省堂
- ★日本国語大辞典・第3~8巻, 第二版編集委員会編, 小学館
- ★日本語文法の諸相, 益岡隆志著, くろしお出版
- ★日本語文法大辞典, 山口明穂他編, 明治書院
- ★現代日本語の語彙・文法, 草薙裕編, くろしお出版
- ★日英比較話しことばの文法 続, 水谷信子著, くろしお出版

— 文 学 —

- ★萬葉集の歌人と作品, 伊藤博著, 塙書房
- ★萬葉集の歌群と配列, 伊藤博著, 塙書房
- ★古代和歌史研究, 伊藤博著, 塙書房
- ★万葉スケッチ紀行, 辻本洋太朗著, 淡交社
- ★源氏物語 (巻一~巻十), 瀬戸内寂聴訳, 講談社
- ★百人一首, 有働義彦編, 学習研究社
- ★夏目漱石「こころ」作品編集, 猪熊雄治編, クレス出版
- ★呉・三国志 長江燃ゆ, 伴野郎著, 集英社
- ★みんな地球に生きるひと: 出会い・わかれ・再見, アグネス・チャン著, 岩波



- ★自分を曲げない勇氣と信念のことば, 曾野綾子著, PHP研究所
- ★大地と白いつえ, 菅野芳亘著, せせらぎ出版
- ★森の回廊—ビルマ辺境, 民族解放区の1,300日—, 吉田敏浩著, NHK出版
- ★命, 柳美里著, 小学館
- ★宮沢賢治名作集, 横井博編, 笠間書院
- ★英米文学のなかのユダヤ人, 河野徹著, みすず書房
- ★ミドルマーチ1・2, ジョージ・エリオット著, 文泉堂

倉敷芸科大学生諸君!

直木賞作家 出根達郎



「本を読むと、得ることがあります。何か?」と聞かれた。質問者は、まず本を読んだことがない、と言う。読む者の気が知れない、と言う。

別に得も損もしないようです、と私は答えた。本をたくさん読んだからといって、大金持ちになった話は耳にしないし、読んだために財産をつぶしたという例も聞かない。

「すると、何の取り柄もないわけですか?」質問者が、畳みかけた。「いや、取り柄は、たくさんあるでしょう」私は読書の効用を、思いつくまま挙げた。

読書の効用

干渉しない。本に夢中だから、争い事は起こらない。

それから読書は恋を生む、と言った。小説のヒロインに恋したり、作者に恋したりする。

先日、近所の図書館に出かけた。私

の近くに座っている若者が、何となく落ち着かない。時計を気にしている。しばらくして、若い女性が入ってきた。若者が、軽くうなずいた。女性も目でもなく。

二人は図書館をデートの場所にしてきたのだ。

男が立つ。二人は手を取りあう。書棚の前で女性が、立ちどまった。夏目漱石の「道草」という本を指さした。

タイムトルを男性に指して教えたのである。男性が、うなずいた。女性が微笑する。たぶん、道草をして遅れた、とても伝えたのだらうと思う。

男性が書棚を物色している。一所懸命に書名を選んでいる。気のきいた書名がないか、と探しているらしい。書名で返事しようというのだらう。二人は一度も会話を交わしていない。

読書は(というよりこの場合、本は、か)恋文の役割りもする。

図書館

忙々日誌

01 1月▽5 御用始め
3月▽23 学位記授与式

4月▽1 人事異動、(出)橋本直幸・桐山大輔、(入)近藤篤司、滝澤好美▽5 入学宣誓式▽6 新入生オリエンテーション▽9 留学生別科図書館利用説明会

6月▽6 第1回図書委員会開催▽13、20 郵便絵画展示

7月▽4 平成13年度第1回岡山県大学図書館協議会研

9月▽10 平成13年度第2回岡山県大学図書館協議会研修委員会出席(井上課長)▽14 新CAT/ILLシステム説明会・学術雑誌総合目録データ更新説明会出席(近藤館員)▽27・28 第31回私立大学図書館協会中国・四国地区研究会出席(井上課長)

10月▽18 2階閲覧室に雀2羽闖入、囀鳴を聞き放生に館員奮闘

11月▽4 館内火災報知器自己点検▽9 平成13年度第3回岡山県大学図書館協議会研修委員会出席(井上課長)▽14 出久根先生館報用原稿依頼。図書選書リスト教員に配付(11/30回収)▽16、22 図書館利用アンケート実施▽21 卒業アルバム用図書館員写真撮影

12月▽5 岡山理科大学図書館取材訪問(生谷館長、井上課長、芸術研究科生1年下柳留美)▽6 神原正明教授館報用写真撮影▽27 図書館閉館(1月6日まで)。館内大清掃▽28 書架整理。御用納め

「図書寄贈者(個人)」

図書の寄贈を受けました。厚くお礼申し上げます。

- 井上弘行 松崎美紀
 - 久恒有紀 藤森俊輔
 - 瀬良由恵 川勝恒郎
 - 須藤一郎 青田吉弘
 - 西田小百合 佐藤恒夫
 - 谷本康子 河上文久
 - 浅見 薫 松田禎二
 - 影山裕子 神原正明
 - 生谷吉男 蛭田二郎
 - 鈴木建弥 國守卓史
 - 長沢雅夫 浅川富美雪
 - 池田宗弘 藤得博貴
- (右敬称・書名略、寄贈順、お名前の方にさせていただきます)

見愚牛天

私は本が好きで、70年間も生きてきてその間にどれだけの本を読んだのだろうか、最近ではある分野に限った文庫本に熱中している。しかし、乱読の嫌いもある。昨年新潮文庫の表紙カバーのシール50枚(50冊分)でヨンドマーク入りの布バックを手に入れた。他の文庫本も読み、よくも新潮文庫をこれだけ読んだものである。

英米のスパイ物や戦争物では、英米に対抗する国が時の流れを反映して変化し、冷戦時代にはソ連であり、中台危機では中国、朝鮮半島のミサイルの騒ぎ、湾岸危機から中東に舞台が移り、一昨年よりはテロが表舞台に出ており、アメリカ議会に日本航空の747が体当たりして政府議会の殆どを全滅させるシーンが描かれており、時代を先取りしている作家の慧眼に驚かされる。

また読書は目より入った文字が、脳の働きでその情景を作りだし、感情の移入や情景を頭の中で主人公に語らすこともでき、時には文中の考えと葛藤することも有って、読書は脳に緊張を与えるのではと考える。頭脳の活性化に役立つと共にものを創造するときに頭脳が活発化するのではなからうか。(館長記)

編集後記

館報の使命として、図書館と皆さんとの架け橋を願って編集に心がけている。それにして、原稿の依頼、編集には毎回ながら悩む。

長いもの短いものを面割りに沿っておさめる。一人ひとりの心象を見逃すまい。それにしても、館報の顔とは、原稿依頼を喫した瞬間に定まる。

活字になったものには、その人の文章の言外に紙背もついてくる。

文藻を飾らず 行間に断意して万鈞 ときに遠慮する 句読点一つにに至るまで、琴線を馳せた。原稿を寄せていただいて社会的な地位・名声に拘泥のない非我には、夕陽が高く眩しい。発行までの道のりは、遠く、花を摘む。